

لما شفتك

WHEN I
SAW YOU



<パレスチナ連帯映画上映会 & 写真展>

■日時：11月2日（日）14時15分上映開始

■場所：アステールプラザ（4F中会議室）

■主催：ZENKO（平和と民主主義をめざす全国交歓会）・広島

■参加費：無料、カンパ歓迎！

■連絡先：日南田（090-8602-4232）hiroshimazenko@gmail.com

1917年の「バルフォア宣言」の日に因みパレスチナの Filmlaboの呼びかけに応え全世界でパレスチナ連帯映画上映会が開催される一環です。

パレスチナ連帯！STOP ガザ虐殺！映画と写真展の集い

- 日時:2025年11月2日(日)
- 場所:アステールプラザ(4F 中会議室)
- 時程:
 - 13時45分 開場、受付
 - 14時15分 上映開始(98分)
 - 15時53分 上映終了、主催者からアナウンスメント
 - 16時30分 会場閉鎖、片付け

■上映会の趣旨:

AFZ(アパルトヘイトフリーゾーン)Japan がパレスチナのラマッラーに拠点を置く Filmlab Palestine の呼びかけに応え、パレスチナ映画祭「Palestine Cinema Days: Around the World 2025」を日本でも開催することを発信しました。ZENKO・広島はこの呼びかけに賛同し、この上映会を開催します！

■上映映画の紹介

「When I Saw You」: 98 分、アラビア語(字幕:日・英)
父と生き別れ、母と一緒にヨルダンで難民となったパレスチナ人少年ターレクは、難民キャンプの生活に馴染めない。子どもの目を通して描かれる、パレスチナ人に押し付けられた不正義、故郷への思い、そしてレジスタンス。ターレクは故郷パレスチナに戻れるのか。パレスチナ人女性として初めて長編映画を撮影したアンマリー・ジャーシル監督による2作目長編映画。第63回ベルリン国際映画祭、最優秀アジア映画賞受賞作。

■写真展「ガザ虐殺 NO!パレスチナ市民との連帯を広げよう！」

ZENKO がこの間連帯関係を築いてきた PPSF(パレスチナ人民闘争戦線)、PWSU(パレスチナ労働者闘争ユニオン)が現地で展開する非暴力による市民レジスタンスの運動の一端を紹介します。イスラエルによる民族浄化攻撃、占領と虐殺に労働組合を組織し、戦争犯罪を記録し、不当に拘束されている仲間の解放を要求し、子どもたちへの学習のケアをする等、市民レジスタンスの様子を紹介しています。

■参加費:無料

参加費は今回の企画の統ルールによって無料とされています。任意の運営費カンパを呼び掛けます。会場費、諸経費を超えるカンパがありましたら、Gaza Soup Kitchen へ直接寄付することになっています。

→ <https://gazasoupkitchen.com/>

★FANUC 全国一斉行動に広島でも取り組みます！★

■今年7月に国連人権理事会に出されたアルバネーゼ特別報告で、ガザ虐殺に加担している企業として、日本で唯一名指しされた FANUC は、工業用ロボティックスの分野で世界のトップを走るグローバル企業です。FANUC の工業用ロボットが、イスラエルの巨大軍事企業エルビットシステムズ社の兵器生産工場で稼働していることが確認されています。155mm榴弾砲などがガザ虐殺で直接使われている兵器製造にFANUC社のロボットアームが使われています。このことについて、イスラエル企業との関与を止めるようFANUC広島支店に申し入れします。

- 日時:2025年11月5日(水)
- 日程: 12時50分 広島駅北口広銀前集合
- 13時30分 FANUC広島支店申し入れ
- 13時45分 街頭情宣行動



問合せ先:ZENKO・広島 日南田(090-8602-4232)